

令和3年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

概要	名称	一般財団法人宮崎県公衆衛生センター		所在地	宮崎市霧島1丁目1番地2		
	電話番号	0985-24-7400		ホームページ	https://www.mivazaki-wflabo.org/		
	設立年月日	昭和43年6月6日	代表者	理事長 長友 重俊	県所管部・課	衛生管理課	
	総出資額	6,000 千円		県出資額	0 千円	県出資比率	0.0%
	設立目的	飲食物及び飲用水等の衛生に関わる検査並びに動物管理業務に関わる業務を行い、もって公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。					
	特記事項	①水道法に基づく水質検査業務、貯水槽水道検査業務に係わる厚生労働大臣登録検査機関 ②食品衛生法に基づく厚生労働大臣登録検査機関					

内容		令和元年度	令和2年度	令和3年度
①公社等のあり方見直し		前年度に引き続き、本県公衆衛生を担う検査機関としての組織意義を見直し、県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるよう取り組んだ。	前年度に引き続き、本県公衆衛生を担う検査機関としての組織意義を見直し、県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるよう取り組んだ。	前年度に引き続き、本県公衆衛生を担う検査機関としての組織意義を見直し、県民、企業、行政等からの多様な需要に応えられるよう取り組む。
②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	公益目的支出計画は前年度で完了したが、引き続き適正な事業運営に努めた。	公益目的支出計画は平成30年度で完了したが、引き続き適正な事業運営に努めた。	前年度に引き続き、適正な事業運営に努める。
	財務改善	前年度に引き続き、安定収入の確保と収支バランスの改善に引き続き取り組んだ。	前年度に引き続き、安定収入の確保と収支バランスの改善に引き続き取り組んだ。	前年度に引き続き、安定収入の確保と収支バランスの改善に取り組む。
	組織等適正化	前年度に引き続き、検査員の配置替えによる代替性確保と技術の向上を図った。また動物管理業務の補充は、非常勤職員への転換を進めた。	前年度に引き続き、検査員の配置替えによる代替性確保と技術の向上を図った。また動物管理業務の補充は、非常勤職員への転換を進めた。	前年度に引き続き、検査員の配置替えによる代替性確保と技術の向上を図る。また動物管理業務の補充は、非常勤職員への転換を進める。
③関係と見直し等	人的支援見直し			
	財政支出見直し	事業の効率的な運営による予算の削減	事業の効率的な運営と予算削減に引き続き努めた。	事業の効率的な運営と予算削減に引き続き努めた。
④情報公開推進	ホームページ等での情報公開	前年度に引き続き、情報公開に努めた。	前年度に引き続き、情報公開に努めた。	前年度に引き続き、情報公開に努める。

	(人)	令和2年度				令和3年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	8	1	5	2	8	1	5	2
	常勤	4	0	4	0	4	0	4	0
	非常勤	4	1	1	2	4	1	1	2
	職員数	22	0	2	20	21	0	2	19
財政支出等	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	県委託料	115,327	123,642	120,839	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等									
主な県財政支出の内容	事業名	事業内容			令和2年度 決算額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	種別		
	① 犬の捕獲抑留業務等補助業務	動物管理業務			101,051	99,997	委託料		
	② 食品衛生検査業務	食品の細菌検査・理化学検査業務			16,976	16,977	委託料		
	③ 動物愛護センター犬・猫譲渡等推進事業業務委託	負傷動物の治療及び健康診断業務・動物愛護センターの獣医師に対し治療等に関する実地指導業務			2,811	0	委託料		
	④ 殺処分ゼロに向けての動物愛護センター機能強化事業	殺処分ゼロに向けての動物愛護センター機能強化事業に基づいて行う業務			0	3,260	委託料		
⑤									

実施事業	①水質検査 ③貯水槽検査		②食品検査（理化学検査、微生物検査） ④動物管理事業（犬の捕獲抑留等業務）					
	指標名	算式（単位）	令和2年度			令和3年度	令和4年度	
活動指標			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値	
	①	水質検査実績状況	水質検査収益(千円)	73,000	83,391	114.2%	79,000	80,000
	②	食品検査実績状況	食品検査収益(千円)	55,000	52,982	96.3%	53,477	53,477
	③	動物管理委託事業実績	委託料(千円)	101,752	103,863	102.1%	103,218	103,218
指標の設定に関する留意事項								

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	239,974	250,666	255,552	資産	160,828	167,995	157,335
	245,743	256,982	255,975	流動資産	45,177	63,629	64,873
	-5,769	-6,316	-423	固定資産	115,651	104,366	92,462
	540	0	0	負債	60,879	74,432	64,404
	9	0	0	流動負債	13,697	31,311	23,929
	531	0	0	固定負債	47,182	43,121	40,475
	-5,238	-6,316	-423	正味財産	99,950	93,563	92,932
	71	71	71	指定正味財産	1,000	1,000	1,000
	-5,309	-6,387	-494	(うち基本財産への充当額)	1,000	1,000	1,000
	104,259	99,950	92,563	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	98,950	93,563	92,069	一般正味財産	98,950	92,563	91,932
	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	5,000	5,000	5,000
	1,000	0	1,000	(うち特定資産への充当額)	32,007	32,007	32,007
	1,000	0	1,000				
	99,950	93,563	93,069				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式（単位）	令和2年度			令和3年度	令和4年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	人件費率	人件費/経常費用×100(%)	64.0	62.1	102.9%	62.0	62.0
	※ 令和2年度 実績値の算式 159,046千円/255,975千円×100						
②	管理比率	管理費/経常費用×100(%)	1.0	1.0	100.0%	1.0	1.0
	※ 令和2年度 実績値の算式 2,778千円/255,975千円×100						
③							
指標の設定に関する留意事項							

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	公社等自己評価	一般財団法人へ移行して9年が経過したが、経営環境はより一層厳しい状況となっている。このような状況の中で、収益面では令和2年度も積極的な営業活動を行ったことなどにより、水質検査事業は前年度実績を大きく上回る収益を確保することができた。今後も検査技術の維持向上と信頼性の確保を図りつつ、経営の安定化に取り組み、動物管理の受託事業を含め県民の信頼に十分応えられるよう、各事業を推進していく。				県所管部課二次評価	主要事業である水質検査事業では、県内外業者との価格競争などの影響を受けて厳しい経営環境が続く状況である。他事業においても新しい顧客層の拡大とともに、相談業務の充実など顧客満足度の更なる向上に努め、積極的に経営の安定化を図る必要がある。また、動物管理業務を含め県民の信頼に十分に応えるため、職員の人材育成・能力開発にも引き続き、取り組んでいく必要がある。			
	評価 (A. 良好、B. ほぼ良好、C. やや課題あり、D. 課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A. 良好、B. ほぼ良好、C. やや課題あり、D. 課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		A	A	B	A		B	A	B	A
	目標達成度					公社等改革推進委員会三次評価	<p>活動内容については、県外の検査機関の参入により競争が激化している水質検査、食品検査の実績状況の指標の目標を達成又はおおむね達成しており、県から受託した動物管理業務についても目標を達成していることから評価できる。</p> <p>財務内容については、いずれの指標も目標を達成し、前年度を上回る収入が確保できていることから評価できる。しかし、3期連続で経常赤字となっていることから、収支改善の取組の強化が求められる。</p> <p>引き続き、公衆衛生を担う検査機関として本県の公衆衛生の向上に寄与するとともに、事業の効率的な運用等により経営の安定化を図っていくことが求められる。</p>			